（様式１）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）１０８	提案機関名	神奈川県畜産会養鶏部会

要望問題名　畜産飼料におけるDDGS、飼料米活用

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

自給率向上を目指してトウモロコシの代替えとしてDDGS、飼料米等の利用が考えられています。また、飼料価格の高止まりに対処し、代替えによる付加価値の向上が図れる特徴を活かした給与方法を考えて欲しい。

解決希望年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③4～５年以内　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　[②畜産技術所]　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	**担当部所**	企画研究課

対応区分	①実施　[②実施中]　③継続検討　[④実施済]　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

採卵鶏への飼料用籾米の給与技術の開発(H22～23)
食品残さの鶏への飼料化技術の確立(H19～25)
乳用後継牛の効率的育成技術の検討（H18～26）
飼料用米の生産・給与技術マニュアル＜2010年度版＞、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

対応の内容等

養鶏については、採卵鶏を対象として、育成期から配合飼料中のトウモロコシを飼料用米に置き換えた飼養管理方法や食品残さ飼料と組み合わせた飼料給与方法について、大学等との共同研究に取り組んでいます。

牛では乳用育成牛を対象として配合飼料中のトウモロコシを飼料用米に置き換える飼養管理技術について独法や他県との共同研究により取り組んでいます。泌乳牛及び肥育牛への給与についても同様に国や都道府県の共同研究が実施されていますので、それらの研究成果等の情報収集に努めます。

豚では、ＤＤＧＳ、飼料米等は現在、独法、他県試験研究機関や各大学等で研究されており、トウモロコシ代替飼料として有効性が示唆されております。神奈川県内での入手の容易性、及び飼料とした場合の(給与量、肥育日数等を考慮した)トータルなコスト、予想される肉質への影響の大小等を考慮した上で試験課題としての実施の可否を決めたいと思います。そのために他機関での既存成果等の情報収集を積極的に行っていきます。

解決予定年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③4～５年以内　④５～１０年以内
備　考	